

小細胞肺癌に対する放射線治療を受けられた患者さんへ臨床研究のお知らせです

Ver.1.1 2025/4/1

揭示文書

研究課題名：体表イメージガイド下放射線治療技術を用いた小細胞肺癌に対する放射線治療の有効性・安全性に関する後方視的研究

この研究は、倫理審査委員会の審査を受け、研究責任者の所属機関の長の承認を得て行っているものです。

研究の概要：

研究期間 承認日 ～ 2028 年 03 月 31 日

目標数 全体 500 例

研究組織：金沢大学附属病院

研究代表者 / 研究責任者 金沢大学附属病院放射線治療科 高松 繁行

本研究の対象：悪性腫瘍に対して当院で体幹部放射線治療を受けられた方

対象期間：2011 年 4 月 1 日～2028 年 3 月 31 日

本研究に用いる情報の種類：通常の診療において取得された診療情報

情報の項目：年齢、性別、癌種、既往歴、治療後副作用、放射線治療照射技術、放射線照射線量、放射線照射回数、放射線治療時治療標的線量、放射線治療時危険臓器線量

研究情報の外部への提供について：研究で得られた情報の外部への提供は行いません。

研究の資金源等と利益相反について：金沢大学運営費交付金にて行います。

研究者の研究に係る利益相反について：本研究において研究者と外部組織との利害関係は無く、利益相反はありません

本研究の内容：

当院では小細胞肺癌に対する放射線治療を行っておりますが、2019 年より光を用いた放射線治療位置決めによる高精度画像誘導放射線治療が可能となりました。本新規治療技術治療での放射線治療の有効性や安全性について本治療技術を用いた患者様と 2019 年以前

の治療技術で治療を受けられた患者様で比較し、後方視的研究を行っております。

本研究の意義：

小細胞肺癌に対する放射線治療は、根治的な治療法として確立し、保険収載がされていますが、新規治療技術である体表イメージガイド下放射線治療を用いた有効性と安全性の報告が、まだなされていません。当院での 2019 年以降の本治療技術を用いることでの、治療標的や周囲正常臓器線量への影響、長期的な有害事象についてはまだ十分に解明されておらず、これらを明らかにすることで最適な治療手法を確立することを目的としております。

個人情報の管理：

この研究では、患者さんのお名前に対応する番号をつけた一覧表を作り、データの調査には個人情報の含まれない対応番号のみを使います。データの調査のときに個人情報が漏れないように、この一覧表は、データとは別に取り扱います。

また、この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがありますが、あなたの個人情報などが公表されることは一切ありません。

本研究への参加：

もし、この研究への参加をお断りになっても、あなたの今後の治療に差し支えることは一切ありません。不参加を希望される場合には、お手数ですが下記の研究責任者、研究分担者、もしくは担当医にお知らせください。研究への不参加を希望される場合は 2028 年 3 月 31 日までに下記 研究の窓口までお知らせください。

連絡先

この研究の内容について、わからない言葉や、疑問、質問、自分がこの対象の対象になるかなど、更に詳細な情報をお知りになりたいときには、遠慮せずにいつでもお尋ねください。

窓口：金沢大学附属病院放射線治療科 担当：高松繁行

電話番号 076-265-2323（放射線科学講座医局）